

論理国語 単元指導計画

日時	令和〇年〇月〇日 (〇)	場所	3年〇組 教室
クラス	3年〇組 (〇人)	授業者	〇〇 〇〇
科目名	論理国語	単元名	情報に関連づけ自分の解釈を形成するために
使用教材	「多様な知識の組み合わせを」 (村上 陽一郎)	使用教科書	『新 論理国語』 三省堂
教材観	本教材は、これからの科学者のあるべき姿を論じている。筆者は自然科学と人文・社会科学が互いに関与しないようにしてきたことを述べ、現在抱える環境問題を解決するには、科学者たちが自分の専門領域を突き詰めるだけでなく、広い視野で発展的に他分野へ敷衍していくことが重要であると主張している。科学を中心に論が展開されているが、生徒にとってものの見方や考え方を知る上で重要なことを述べている教材である。		
生徒観	国語の授業に対して前向きな姿勢で臨み、自らの考えを積極的に発信できる生徒が多い。しかし、他者の意見を聞き、自分の意見に反映して考えを深化させるという経験は乏しい。また、本教材のような学問に関するテーマに対して苦手意識をもつ生徒も多いが、身近な話題を授業で用いたり、文中の例を有効活用したりすることで生徒の思考を促し、活発な授業を展開したい。		
指導観	本教材をこの単元のまとめとして扱い、知識や情報を取捨選択し組み合わせ、それによる結果の予測をしてしかるべき判断をする力を身につけさせたい。これまでに学習した「学びとは何か」「『知る』ということ」「文系と理系の壁はあるか」で学んだことをふり返りながら本文を読み、問題解決のために必要な能力を学ぶ。最後には生徒が生活する学校の課題に目を向け、本教材での学びをいかしてその課題の解決策を検討する。そして今後の暮らしにおいて課題に直面した際、その課題に立ち向かい解決する礎としたい。		

1 単元の目標

- (1) 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 [知識及び技能] (1)エ
- (2) 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] A(1)エ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 「学びに向かう力, 人間性等」

2 単元の言語活動

学校の課題について、知識や情報を取捨選択したり組み合わせたりして解決策を考え、及ぼす影響を熟考して話し合い、よりよい解決策を論述する。

(関連: [思考力, 判断力, 表現力等] A(1)エ)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ((1)エ)	①多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 (A(1)エ)	①グループ交流により学校の課題解決策とそれによる影響を考える中で、他者の考えを聞き、自身の考えを広げたり深めたりできるよう粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。

4 指導と評価の計画 (全5時間)

次	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
第1次 (1時間)	○単元の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ○学校の課題の解決策を考える。(授業プリント) ○段落分けをし、構成を理解する。 ○漢字や語句の確認をする。	[知識・技能] ① [思考・判断・表現] ①	「記述の確認」
第2次 (1時間)	○第一段落の内容(科学者の立場からみた環境問題)を理解する。 ○第二段落の内容(人文・社会科学の発想)を理解する。	[知識・技能] ①	「記述の確認」
第3次 (1時間)	○第三段落の内容(科学の融合へ)を理解する。 ○第四段落の内容(缶ミルクの教訓)を理解する。 ○第五段落の内容(多様な知識の組み合わせを)を理解する。	[知識・技能] ①	「記述の確認」
第4次 (1時間)	○第四段落から第五段落前半の内容を復習する。 ○同じ課題に取り組んだ生徒同士で交流する。 ○自分の考えた解決策に対する他者の意見をまとめ、自分の考えを深める。	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の分析」
第5次 (1時間)	○異なる課題の解決策を考えた生徒同士でグループ交流を行う。 ○自分の考えた解決策に対する他者の意見をまとめ、自分の考えを深める。 ○1時間目で考えた解決策、4時間目の交流後に改良した解決策、本時の交流後にさらに改良した解決策をふり返る。	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	「記述の分析」

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ○学校の課題の解決策を考える。(授業プリント) ○段落分けをし、構成を理解する。 ○漢字や語句の確認をする。	・これまでの学び(「学びとは何か」「『知る』ということ」「文系と理系の壁はあるか)を復習する。 ・事前にFormsで集約した学校の課題を5つに絞り、各生徒に1つずつ解決策を考える課題を割り振って取り組ませる。	[知識・技能] ① 「記述の確認」 ・ノートに記載内容を確認する。 [思考・判断・表現] ① 「記述の確認」 ・授業プリントの記載内容を確認する。

2	<p>○第一段落の内容（科学者の立場からみた環境問題）を理解する。</p> <p>○第二段落の内容（人文・社会科学の発想）を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然界における炭素の循環」の例をもとに、科学を閉鎖的な状況から解放する必要性を理解させる。 ・自然科学と人文・社会科学が遠ざけ合ってきた経緯を理解させる。 	<p>[知識・技能] ①</p> <p>「記述の確認」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記事内容を確認する。
3	<p>○第三段落の内容（科学の融合へ）を理解する。</p> <p>○第四段落の内容（缶ミルクの教訓）を理解する。</p> <p>○第五段落の内容（多様な知識の組み合わせを）を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分野が壁をつくってきた科学が転機を迎えていることを理解させる ・缶ミルクの事例が失敗した理由を理解させる。 ・環境問題の解決には、科学の解放、科学者像の変質が必要であることを理解させる。 	<p>[知識・技能] ①</p> <p>「記述の確認」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記事内容を確認する。
4	<p>○第四段落から第五段落前半の内容を復習する。</p> <p>○同じ課題に取り組んだ生徒同士で交流する。</p> <p>○自分の考えた解決策に対する他者の意見をまとめ、自分の考えを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・缶ミルクの事例から筆者が考えた「要求される知的能力」を確認する。 ・1時間目に同じ課題の解決策の考案に取り組んだ生徒同士でグループを作り、各自が考えた解決策を交流する。互いに意見し合うことで自分の考えをブラッシュアップさせる。 	<p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ①</p> <p>「記述の分析」授業プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見をもとに自身の意見を深められているか分析する。
5 (本時)	<p>○異なる課題の解決策を考えた生徒同士でグループ交流を行う。</p> <p>○自分の考えた解決策に対する他者の意見をまとめ、自分の考えを深める。</p> <p>○1時間目に考えた解決策、4時間目の交流後に改良した解決策、本時の交流後にさらに改良した解決策をふり返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が考えてきた解決策がひき起こす可能性がある事象をさまざまな視点から話し合わせる。その際、その他の生徒には、教務、生徒指導、進路指導、保護者の立場を与え、それぞれの視点から意見を考えさせる。 ・自分の考えに対するさまざまな視点からの意見をもとに、解決策をよりよいものにする。 ・最後のふり返りでは、1つ目の解決策がどのような意見により2つ目、3つ目へと変化していったか言語化する。 	<p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ①</p> <p>「記述の分析」授業プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見をもとに自身の意見を深められているか分析する。

《本授業における評価の実際》

5 観点別学習状況の評価の進め方

「論理国語」の「内容」の〔思考力、判断力、表現力等〕「A書くこと」に関する指導については、「内容の取扱い」(1)アに「50～60単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること」と示されている。このことを踏まえ、本単元では、「A書くこと」に関する資質・能力を目標として掲げ、単元のまとまりの中でその育成を重点的に図る指導と評価の計画を示している。

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能]①の「文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている」状況を、「筆者の主張を理解し適切にノートにまとめる」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、ノートの記述を中心に確認し評価する。

本文の読み取りができていない状況をCと捉え、個別に声をかけてヒントとなる本文の記述を示したり、前時のノートの内容を隣同士で共有させたりして読み取りを行うよう促す。

(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現]①の「『書くこと』において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている」状況を、「他者の意見を参考にしながら、自分の考えを深めている」姿（「おおむね満足できる状況」(B)）と捉え、授業プリントの記述を分析し評価する。

記述ができない状況をCと捉え、授業プリントの他者からの意見をメモした箇所に着目するように促す。

(3) [主体的に学習に取り組む態度] の評価

[主体的に学習に取り組む態度]①の「グループ交流により学校の課題解決策とそれによる影響を考える中で、他者の考えを聞き、自身の考えを広げたり深めたりできるよう粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている」状況を、「自分の考えが変わっていく経緯を記述してまとめている」姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、単元プリントの記述を分析し評価する。

自分の考えが変わっていく経緯がまとめられず、努力を要すると判断する状況をCと捉え、これまでの授業プリントを参考に、グループ交流で自分の考えに対して他者からどのような意見もらったかを確認するように促す。

6 学習指導案(5時間目/全5時間)

本時の目標：さまざまな視点からの意見を参考に、自分の考えを深めることができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] A(1)エ

言語活動：自分の考えた課題の解決策に対する、異なる立場からのさまざまな意見を自身の考えに反映させ、よりよい解決策を論述する。

本時の展開：

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 3分	<input type="checkbox"/> 本時の目標を確認する。 <input type="checkbox"/> 本時の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな視点から物事を捉え、その影響を予測し、よりよい解決策を考えることが目標であることを確認する。 ・①～③の流れを確認する。 ①異なる課題の解決策を考えた生徒同士でグループ交流を行う。 ②交流での意見を受けて解決策を練り直す。 ③解決策の変容をふり返る。 	
展開① 25分	<input type="checkbox"/> グループで交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループ5人を基本として、異なる学校の課題に取り組んだ生徒同士で交流を行う。1人5分とし、自分の考えた解決策に対して教務、生徒指導、進路指導、保護者、生徒のさまざまな立場の視点から意見をもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場がどのような役割を担っているか説明する。 ・自分の考案した解決策に対して他者が予測した悪影響が起きないようにどうするのか、また起きた場合どのように対応するか考えるよう発表者に促す。
展開② 20分	<input type="checkbox"/> よりよい解決策となるよう練り直す。 <input checked="" type="checkbox"/> 解決策の変容をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな立場からの意見をもとに、それぞれが納得できるように解決策を練り直し、完成版を作る。 ・1時間目に考えた解決策、4時間目の交流後に改良した解決策、本時の交流後にさらに改良した解決策をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような意見を受けて(どのような事態を想定して)解決策が変わっていったかプリントに書かせる。 <p>【目標Aに対する評価規準と評価方法】</p> <p>規準：解決策の変容を言葉で表現できている。</p> <p>方法：「記述の分析」(授業プリント、机間指導)</p> <p>[状況Cに対する手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4限目の交流、本時の交流の

			際にしたプリントを確認するよう促す。
まとめ 2分	<input type="checkbox"/> 単元をふり返る	・ふり返りプリントを受け取り、次回までに単元を通じて学んだこと、今後いかしたいことを記述する。	